

2022年1月31日

日本原燃株式会社

2021年度防災訓練（濃縮・埋設）における改善点と今後の取組みについて

1. はじめに

2021年12月21日に実施した濃縮事業部および埋設事業部の原子力防災訓練では、加工施設および廃棄物埋設施設の同時発災を想定した訓練を実施した。

その結果、昨年度の防災訓練で課題となった即応センターとERCプラント班との情報共有については概ね改善が図られていることが確認できた。今後、更なる改善として、ERCプラント班への説明方法やCOPの記載方法について、見直しを図っていく。

本資料では、訓練で確認された主な問題点とそれに対する課題、原因および対策について示す。

2. 改善検討の進め方

2-1. 主な問題点、課題の抽出

社内外コメント（訓練評価者による評価結果、訓練後の参加者振り返り、参加者アンケート、電力会社による評価結果等）から、問題点を抽出する。

さらに、それらの問題点を整理し、重要度が特に高いものは「主な問題点」とし、それに対する「課題」を抽出する。

2-2. 問題点に対する要因分析、対策の立案

2-1. において抽出した課題について要因分析を行い、原因を明らかにするとともに、対策を立案して今後の取組みを整理する。

3. 本訓練における主な改善事項

前項に基づき整理した本訓練の主な問題点、課題、原因および対策は以下のとおり。

【濃縮事業部対策本部】

No.	主な改善事項	
1-1	<p>COPの改善（濃縮事業部）①</p> <p>【問題】</p> <p>COP②（設備概要図）に記載すべき情報に不足があった。</p> <p>【課題】</p> <p>① COP②（設備概要図）に抜けなく必要な情報が記載されていること。</p> <p>② COP②（設備概要図）を備付資料と同レベルの記載となっていること。</p> <p>【原因】</p> <p>COP②（設備概要図）は概要図として必要な設備のみ記載して、COP作成者が追加記載するような様式としていた。</p>	<p>【対策】</p> <p>ERC対応者が容易に説明できるように、備付資料に記載している図とCOP②（設備概要図）との整合を図り、設備などはあらかじめ詳細に記載する。</p>

No.	主な改善事項	
1-2	<p>COPの改善（濃縮事業部）②</p> <p>【問題】</p> <p>①COP①（設備状況）のうち、建屋状況および本格対応状況を記載する部分において、他箇所とフォントの大きさが異なっていた。</p> <p>② COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）については、手書きによる記載により見づらい部分があった。</p> <p>【課題】</p> <p>① COP①（設備状況）の視認性を向上させるとともに、誤解を招く記載（モニタ類の赤網掛け、確認中または待機中など）を無くすこと。</p> <p>② COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）を電子化すること。</p> <p>【原因】</p> <p>① COP①（設備状況）は、1枚で事象進展や対策状況が把握できるようなシートにしていたため、フォントの統一を考えていなかった。</p> <p>② COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）は、これまでの訓練を通じて、速やかに情報共有することを第1に考え、作成してきたため、見やすさを意識した対応がなされていなかった。</p>	<p>【対策】</p> <p>① COP（設備状況）の表示方法やレイアウトを修正するとともに、記載方法に関する手順の充実化を図る。</p> <p>②COP②（設備概要図）およびCOP③（戦略シート）を電子化するとともに、記載方法に関する手順の充実化を図る。</p>

No.	主な改善事項	
1-3	<p>COPの改善（濃縮事業部）③</p> <p>【問題】 COP③（戦略シート）は、戦略に関する目的が記載していないため、何の目的による戦略なのかわからない記載となっていた。</p> <p>【課題】 ①-1 戦略の目的を記載すること。 ①-2 事象に対する戦略の優先順位がわかる記載とすること。</p> <p>【原因】 事象毎に対する戦略および戦略の目的が分かるようなフォーマットになっていなかった。</p>	<p>【対策】 事象毎に対する戦略および戦略の目的が分かるようにCOP③（戦略シート）の改善を図る。</p>

【埋設事業部対策本部】

No.	主な改善事項	
2-1	<p>COPの改善（埋設事業部）①</p> <p>【問題】</p> <p>①復旧班の終了見込み時間が何度も変更されていた。</p> <p>【課題】</p> <p>① 完了時刻（予定）の記載方法を明確にすること。</p> <p>【原因】</p> <p>① 最初に作成する COP③（戦略シート）の完了予定時刻は、標準的な作業時間をもとに完了時刻を記載し、その後、完了予定時刻より遅れても実績反映することで良いとの認識であった。</p>	<p>【対策】</p> <p>① COP③（戦略シート）の記載に関するガイドを作成し、作業時間の見積もりの適正化を図る。</p>
2-2	<p>COPの改善（埋設事業部）②</p> <p>【問題】</p> <p>①COP 資料の字が細かく、情報量が多いため、事象内容やその対応が把握しにくい。</p> <p>【課題】</p> <p>①COP の視認性を向上させること。</p> <p>【原因】</p> <p>① COP①（施設状況図）は、1枚で事象進展や対策状況が把握できるようなシートにしていたため、文字の大きさや視認性への配慮が不十分であった。</p>	<p>【対策】</p> <p>① COP①（施設状況図）の他 COP（戦略シート、低レベル廃棄物管理建屋 他）の文字の大きさやレイアウトを修正するとともに、記載方法に関する手順の充実化を図る。</p>

No.	主な改善事項	
2-3	<p>COPの改善（埋設事業部）③</p> <p>【問題】</p> <p>①1件の火災発生個所に対し、COP②（低レベル廃棄物管理建屋1F）の異なる2か所に吹き出しを記載したため、複数の場所で火災が発生したと誤解が生じる恐れがあった。</p> <p>【課題】</p> <p>①COPの情報が正確に伝わる記載とする。</p> <p>【原因】</p> <p>①-1一つの事象の進展に係る表示方法が明確になっていなかった。</p> <p>①-2火災受信機表示の場所は、複数の部屋が対象であることの認識が浸透していなかった。</p>	<p>【対策】</p> <p>①-1 COP②-2（低レベル廃棄物管理建屋1F）の発災現場などを示す際の表示方法を検討し、誤解が生じないように改善を図る。</p> <p>①-2 緊急時対策所内に火報エリアマップを配備し、認識の統一を図る。</p>

【全社対策本部（即応センター）】

No.	主な改善事項	
3	<p>ERC プラント班への説明方法の改善</p> <p>【問題】</p> <p>① 通報文の内容を説明する際、説明漏れがあることや既に説明している内容と齟齬があることを把握したうえで説明することができていなかった。</p> <p>② 事業部対策本部から得た情報を速やかに伝えることに追われ、事故・プラントの状況、進展予測、事故収束対応戦略および戦略の進捗状況の全体を整理した説明ができていなかった。</p> <p>【課題】</p> <p>① 説明した内容を ERC 対応ブースにおいて整理すること。</p> <p>② どのように説明するか全体を整理すること。</p> <p>【原因】</p> <p>① これまでの説明事項を確認するための体制、手順がなかった。</p> <p>② 事業部対策本部から収集する情報をどのように説明するかあらかじめ全体を整理してなかった。</p>	<p>【対策】</p> <p>① 説明した内容を整理するための E R C 対応ブースにおける体制、手順を定める。</p> <p>② 想定される事象毎に発話すべき内容の一覧や発話例等を説明ガイドに定める。</p>

4. 今後の対応

前項で示した対策に取り組むとともに、個別訓練等において要員の習熟を図り、来年度の総合防災訓練までに対策の有効性を検証する。

以 上